

- ・新たな施設整備にあたっては、住民の声を広く聞き公開することが重要。また、住民の声を反映するためのワークショップも必要。
- ・この会の目的や委員に対し何を検討してほしいのかをはっきりと示してほしい。また、制限事項も明確にした上で、次回から検討させてほしい。
- ・資料の予定スケジュールに変更の余地はあるか。

（市）予定スケジュールは、最短で新施設を整備することを前提にお示ししたものであり、令和8年度当初予算に設計費用を計上することを想定しているが、本検討会の状況によっては、予算計上時期を後ろ倒しにする。補正予算での計上も検討。

- ・少しでも早く新施設が完成してほしいが、整備候補地の決定にあたっては、多くの皆さんの意見をいただいた方がいい。会議やワークショップの数を増やすことも検討してほしい。

- ・検討会の開催回数が足りない。毎月開催すべきではないか。

（市）検討会やワークショップの回数については、ご意見を踏まえ、臨機応変に検討していく。

②整備候補地について

- ・現地建替えが前提と思っていたので、整備候補地を今日決定することは難しい。少なくとも、持ち帰って団体内で意見を聞かないと判断できない。候補地の再検討の余地はあるのか。

（市）本検討会での議論を踏まえ、判断する。

- ・バス乗継場を再整備し、バスの乗継機能を維持しつつ、近隣センターを整備するとのことだが、整備方法により、建物の建設可能面積が減るということか。

- ・バスの乗継場の再整備にあたっては、現状の利用状況を踏まえ、必要性も含め、よく検討してほしい。

- ・バス乗継場の整備方法が建物の規模に直結することから、そこについて、次回、再度提示してほしい。

- ・近隣センターの周りにロータリーを整備する場合、多世代が利用する施設であるため、安全性の確保が不可欠。その点も考えてほしい。

（市）乗継機能の維持を前提に、整備方法を設計の中で検討していくこととしているが、次回検討会で状況を整理し、改めてお示しする。